大正十年十二月十日　第三種郵便物認可

昭和十四年五月二十六日　聲ノ新聞　［金曜日］　第五千五百二十九號　［一］

兎の耳と禮儀作法(八)

佐波古直胤

此に於て森羅萬象一切整つて來ます。天が覆うて地の載するのも、山の高いのも、海の深いのも、鳥が飛ぶのも、魚が躍るのも、柳は綠花は紅なのも、昆蟲の羽のたゝまるのも、皆天理天則じないものはありません。朱子の所謂天理の節文でないものにはあゝません。花鳥風月、各四時順應致しまして、悠の茫間に囀るのも、雲雀が虛空を舞降するのも、蛬が樹上で鳴くのも、兎の耳に黑點があるのも、鳥翼がたゝまれるのも、種類により雌雄・脫色が變つてあるのも既に皆天理天則でないものはなく、節文でないものにありません。

禮儀作法の禮は之を要しますに道理を立てる事であります。道理を立てるとはどういふ事かと申しますとそれは至誠、マゴコロを顯はすことであつて、中庸に「誠者天之道也誠之者人之道也」といつてあります即ち天地自然の條理に從ふことであります。至誠敬意を表現致しまして、其の一擧手一投足よく秩序を正しくし、規矩準繩に從ひ、圓滑圓達で然かも之に拘束せられるが如き事があつてはなりません。禮は何時も一定不變のギゴチないものではなく、その時により、場所により、地位によつて變つてまゐります。まして汲めども盡きざる妙味があります。然しながら天理の節文は天地自然の理に基いて居りますしてこの基本のみは千古易りません。此の一理に通暁しますれば內容と外形、即ち起居進退、敬禮作法、冠婚葬祭、皆及を迎へて解く事が出來ます之が禮の大綱であります。頗はしいのであります。此の場合神社祭式のお話しをすゝめ致しませう。

明治四十年內務省告示、神社祭式行事作法中

進退の條には、進む時は左足より退く時は右足よりす、席に上下の別ある時は下座の足より起すものとす。

よし退く時は上座の足よりすとあり。

起座の條には、進む起座は左足を進むる方に依り退く起座は右足を引く方に依るものとす、席に上下の別ある時は下座の膝より起すものとす。

日曜祭日翌日休刊

東京電話銀座一〇六五五八番

夕刊

五月二十五日發行

定價（朝刊）一ヶ月金五拾錢　（夕刊）一ヶ月金三拾錢　（朝夕刊）一ヶ月金六拾錢　廣告料金（一號活字）一行金拾五錢　（二號活字）一行金貳拾錢　（三號活字）一行金拾錢　（四號活字）一行金六錢　（五號活字）一行金四錢　（六號活字）一行金貳錢　（七號活字）一行金壹錢　（特別廣告）一行金貳拾五錢

發行所　聲ノ新聞社　東京市麹町區有樂町一丁目一番地　電話丸ノ內（二）一〇〇番　社長　前田昇

天氣豫報

小名濱測候所觀測

今晩　南東の風晴

第日　南西の風晴

一時雲

三月三日謹賦

珠雲　小野勿平

一夕卿雲曉霽橫
百官麥秀風凰城
後宮傳得弄鸞響
都鄙舉揚萬歲聲

平局俳黎會　五月句會互選句集

○柳鯛よと亡父のこゝ旅に居て　麗月
○陸揚や雜魚に混りて櫻鯛　猴子
○除膳にさゞ波へけり櫻鯛　春風
○朝市に目立つや龍の櫻鯛　含雪
○くろがねの脊に擔へる櫻鯛　金七
○揚げられて船底たゝく櫻鯛　白砂
○魚河岸に一きは目立つ櫻鯛　同

その日

○

行春や雪洞積みし一車

黑鳥

詩歌

恩寵無道

109

久我莊多郎

香川三十代書

入㊞客

呼名滿紋（十五）

早速に、惣介はワドソン氏に、兄のことを賴んでくれたので、お加代は心をよるはし、胸を躍らした。赤く充血した目を、大きくいつぱいに瞠つて、ちつとワドソン氏の赫顏を見上げる。

「おゝッ」

ワドソン氏は、感激をおもてに示して、お加代の肩を叩いた。

「おゝ——」

振向いたワドソン氏は、「いま、奥でよく眠つてゐます。僕は二ヶ所ですが、どちらも急所を外れてゐます。築地のエンゲル先生にも診てもらひました。ビストルの彈は、先生が拔き取りましたが、何分にも出血がはなはだしいので、當分安靜にするやうにと、先生がいつてゐました」

惣介とお加代は、顏を見合した。何ということもなしにホッとする。助かるといふ氣もするけれども、やはり心配でもあるし、ぼんやりと光つてゐるランプの灯に、ワドソン氏の大きな目は、涙でうるんでゐるやうに見えた。

「病室へまゐつても、いゝでせうか？ワドソンさん」

「どうぞ、行つてあげて下さい。お役所の人たちも見えてゐます」

ワドソン氏が戸を開いたので、惣介とお加代は、店員に案內されて、奥に通つた。

愼吾の病室になつてゐるところは、如何にも見た目に清楚な感じの部屋だつた。部屋の中には、中央のベットに寢かされてゐる愼吾を圍んで、稻島正臣たち、お役所の上官たちの顏が見えてゐた。

お加代は、部屋にはいるなり、つか〳〵とベットのかたへ行つた。

「兄さまッ」

誰かが、シイッ、とおかげを抑へた。しん吾は、こん〳〵とよく眠つてゐるのだらう。

お加代は、ホロ〳〵と涙をこぼした。

——その後明け方、一度わが家へ歸つて來た惣介は、留守居の茅江から、どうしたことか國原金四郎が駄々をこねて出て行つたまゝ、いまだに歸らないといふことを聞かされた。

「雄藏のやうに白い顏を見た。

「あなたが……」

と、一步進んで來て、大きな手を差延ばすのである。

「わたし、ルウ・ワドソンです。わたし、あなたのお兄さんに、どう感謝すればいゝでせうか。日本の偉さを、わたしは、ユカミさん以外の人に見出しました。お禮をいひます。あなたの兄さんの勇敢な行動のお蔭で、わたしの店の被は、ほんのチョッピリで濟みました。有難う。有難う。」

お加代の手を握つて、二どと三度強く振つた。

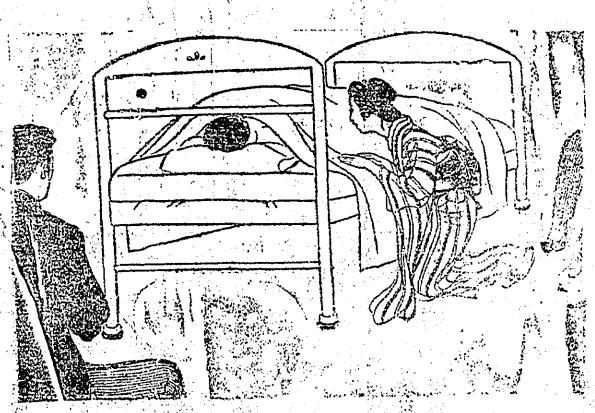
お加代は、日本人にない、この握手の禮に、ちよつと顏を赤らめて

「いゝわ……」

と、口籠りつゝ、

「兄はたゞ、お役目を果しただけでございます」

惣介とお加代は、顏を見合した何ということもなしにホッとする。助かるといふ氣もするけれども、やはり心配でもあるし、ぼんやりと光つてゐるランプの灯に、ワドソン氏の大きな目は、涙でうるんでゐるやうに見えた。



三月廿六日——五月廿六日

△宇治川合戰（治紙のやうに白い顏を見た。

承四）△下田條約

5月26日——

成り米人の在留を許す（安政四）△新衛內閣

大改造（昭和一三）

おでん、やき鳥
小鳥燒も初めました。
お酒のあとにおけさめし
平市三田小路（三丁目裏）
おでん
茶めし
酒の家　味郷

警防精神の皆樣
◎警防團旗
◎警防分團旗　制定さる！
御下命は……弊店へ
今回內務省發保局に決定したる制定警防團旗は時局柄標準價格決定致し滅私奉公良品廉賣申候間御相談被下度候
◎圖案色合見本有ます
京都西陣　山本旗工場代理店
平市田町銀座通
大塚運動具店
電話七十七番
各種運動具豐富に揃つて居ます

實株は買ッテ御手元へ
必ズ儲カル優良株
投資指針
●支那事變公債四萬圓マデ買マス
平市四丁目三十三
富岡株式店
電話二五八

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平市田町（電話五八番）
豚田女學校前
「入院のお勸めに應ず」
（看護婦及び見習看護婦募集）

歯科口腔外科
日本歯科醫學士　鈴木吾政
內郷村高坂磐炭病院前

お醫油は……ヤマフル醬屋
味噌醬油
たひら正宗
醫藥食料品
山崎合名會社
福島縣平（營業部一〇番）
電話（本店二七番）
明治生命醫院代理店　山崎與三郎

御婚禮御着附
パーマネント
ウエーブ
洋和結髮
オゾン美顏術
御染髮洗毛
美爪術電話六七八番
平市鍛冶町
水野化粧院

斷然一賣行よし
信用と品質と共に備つて

低溫殺菌
岡田牛乳
平市鎌田町
電話五一

これは便利！
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけておくだけで洗へる
美マルミ粉末石鹼
製造元　平市材木町一一

實用新案第一八七四三〇號
意匠登錄第六六一六七號
石山式
石綿ムシカマド
こんな經濟的な「かまど」は他にありません
安價な燃料で濟み、保溫力が強く堅牢で火の元絕對安全！、御使用に御便利な！石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、たゞ〳〵め致したい新製品で御座います。
平市五丁目
和洋銅物金物問屋
釜屋商店

重田眼科
平驛前通り　元貯蓄銀行跡
眼科一般
眼鏡檢定
醫師　重田景治
平市田町一番地

第一線の
慰問品ニハ
見不知羊羹と
潮の華
平市五丁目
泉屋菓子店
電話六六八

りんびょう
淋病
こしび
專門藥
岩里　別府淋藥　一週間分叁圓（黑）五圓（赤）
痛みある病。熱ある病
岩里　別府散　七包入　五十錢　十五包入　壹圓
製藥本舖　別府市　岩里天然堂
平市古館治町一〇
代理店
阿康藥局
電話四十四番
振替東京三〇〇六五番

故障の起らぬ
ラヂオの口原
擧つてラヂオ防…擧つてラヂオ
ラヂオは是非——
專門店……へ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166

石川のすきやき鍋
初めました
最近燒麩で高評有る御贔屓よりの牛料理は本場肉のすきやきでおろしの美味のよさトーゾ、た試食下さいマシ
平市田町銀座通り
牛料理　石川亭
電話與三番

戰時下の暑休廢止
既決の裁判所關係を筆頭に
市役所其他も同樣か

比較的人生の波紋が多い炭礦漁村を管内に有する土地柄として常に民刑事件の輻湊する平支部同區裁判所並に檢事局では、緊迫した事變下に悠づくり夏休みでもあるまい－と昨夏中に於ても當面の事件處理には殆ど廢休の大努力を續けたが、今年は各自發的の奮勵に先だち早くも昨二十四日の會議で之を盈勵する事に決定、近日中その通牒が入ると共に來るべき耐暑執務の根本陣容が樹てられるものと觀られてゐる。尚は平當休み拔きが殆ど常識となつて居る稅務署や、之も昨年から半退廢止し緊張振りを見せ、而も烈日下に於ける正午のラジオ體操などに銃後事務人の張り切りに終始した市役所其他等、何れも之と大體同じ意氣込みで酷暑征服の擧に出るものと豫想さる

小手は殆ど神技
全國的に覇を制した
川前村出身矢内劍豪

宮内省皇宮警察部主催濟寧館武道大會第二日目の錬士部優勝試合に出場見事優勝の榮冠を獲得した近衛師團矢内正一氏は本郡川前村出身、近衛歩兵三聯隊第九中隊の准尉である、戰技の如く過般京都の同試驗に出場し尾崎磐女教務主任以下の奮闘振りと併せ戰時下に於ける尚武イハキの爲に萬丈の氣を吐いたものである

（第一回戰）文理大の廣川を小手二本で（第二回）大阪警察部の酒匂を之亦小手二本で而も二回共相手に一本も入れしめず（准決勝）慶應の中野に小手面を見舞ひ僅かに小手一本を受け（決勝）自分と共に准決勝の勝者たる朝鮮の平野と對戰小手二本連續の猛襲に見事全國的の勝を制す

無欠勤訓導表彰

四倉小學校佐藤ユキ、同水產商業青年學校大橋周次郎、引地文雄の三訓導は十三年度中出勤成績優良の廉により二十二日篠原校長から表彰、記念品を贈られた

米價稍々落調
俵米共販三錢安

石城販聯今月下旬の俵米定期共販は出荷八百五十二俵相場左の如く最高飯野の十三圓六十一錢、最低草野の十三圓四十一錢で前回に比し平均三錢安

平一三圓[illegible]七錢　飯野一三、六一　神谷一三、五三　草野一三、四一　大野一三、四五　高久一三、五〇　夏井同　平窪一三、四六　勿來一三、五

青年團總會延期

平市聯合青年團總會は二十八日開く筈であつたが君島知事提唱の青年報國運動案が縣下四市とも同一歩調をとることになつたので來月中旬に延期

聖旨を畏む
昨日磐中平商で
御親閲勅語奉讀

磐城中學校では昨二十四日講堂に全校生徒を集め、今回の御親閲に下賜された勅語の奉讀式を行ひ、荒木文相の訓示を傳達した上、校庭に分列式を行ふ豫定であつたが雨の爲めに之を取り止め御親閲拜受奉の奉迎式を擧げた。尚は平商でも同日同樣の行事に、年少學徒の感激を漲らした

玉碎三勇士
十八日内郷村葬

内郷村出身步兵伍長大島睦夫、同上等兵小賀石松、砲兵同國分一夫三柱の村葬は來る二十八日午後一時から同村第二小學校に於て執行する

中澤技師來郡

内務省警保局中澤技師、縣保安課森技師は二十五日小名濱町日來工場を視察

增稅受けぬ酒を
高く賣る慾深商人
平署の取締り發動か

四月一日以前仕入れの增稅を受けて居ない酒、ビールに對して不當の値上げをした商人があるらしいと云ふので其の取締りに就き昨二十四日付で警察部長から平署にお達しが入つた

之は四月一日以前に仕入れた酒には增稅されて居ないにも拘らず增稅後の仕入品と同樣に一升五錢の値上げで賣却、特に甚だしきは料理店、飲食店では一合五勺入り德利一本につき五錢を値上げし又ビールは縣下四市（福島、郡山、若松、平）に對し四月一日增稅以後一本一錢の値上げを認めたるに業者間には一本四十五錢に値上げして販賣してゐる有樣である

一時から小學校で執行

鉛泥に判決

昭和人絹工場から鉛等を盜んだ同工場雜役夫關三吉（四三）の公判は二十五日平區に開き懲役八月罰金二十圓の判決を言渡され、これを買受けた同村古物商金研藤（五〇）は懲役六月罰金五十圓但し執行猶豫三年間の判決

戰傷兵慰安映寫

市内世界館では二し

軍艦「長鯨」便乘許可
今度は小名から平潟へ

既報、海上簡閱點呼艦「長鯨」は來月十二日午後三時宮城縣から入港、十三日午後六時平潟港に向け出港するもので前回同樣海軍應徵の資格を以て十五才以上の便乘を許可する、資格左の如し

官公吏、兼濟院議員、軍人、海軍々人家族、學校職員、學生生徒（小學生を除く）海軍協會員、青年團、少年團幹部、新聞記者

金集中
地方應募者

十七日從來陸軍病院に國防協友男士會を開く金の獻納募集中はいま地方銀行を經動員して行つてゐるが開始以來現在迄の地方應募者左の如し

▲指輪一個同村高藤好一▲當冠一平市草野篤夫▲時計側內郷村石濱宣雄▲同二高久村鈴木かね▲同一個ヶ倉町志賀仁郎▲羽織紐外二平市關內品子▲時計側外三渡邊村高木りい▲同一平市南町鈴木みつ▲指環一個同村代國せき▲時計側外平市杉平榮羽衛▲指環一個成田さは▲時計側外圓飾青藤とも▲同二個村昭和人絹會社猿本三郎▲同二平市海野まつ▲時計側外一個會田松伊藤五郎▲同二平市伊藤はつ▲指環外二內郷村小川とく子▲時計鎖外平市三村貞吳▲指わ一平市三森ひで▲貨幣五同福井保▲同一湯本町入山炭坑社宅工藤もよ子▲時計側外一磐崎村片寄かつ子▲同九湯本町森田寅之助▲同八磐崎村平本久萬吉▲時計側一平市鳥海菊五郎▲指わ外四同鳥海千代▲義齒一湯本町宮本與四郎▲指わ一磐崎村澤田るく▲時計側外一湯本町大平喜代次

功勞章傳達式

市内大町中野喜平君に對する滿洲國功勞章傳達式は二十五日午前十時から市役所で擧行

植付は早目に行へ
銃後勞力不足に鑑み
郡農會等で田植指導

戰時下米の增產については、郡農會、町村當局で全力をあげてこれが指導に當して居り、幸ひ植付を前に苗代の成績は頗る順調であるが勞力不足其他のため、ややもすれば植付の時期を逸し、山間部の如き往々冷害の機會を馴致する虞れがあるので關係筋は縣當局の指示に從つて植付けは例年より努めて早目に行ひ其間手落ちのないやう指導の萬全を期してゐる

大浦村葬

大浦村では戰死者步兵伍長芳賀五郎の村葬を三十一日午後

死体未發見
鰐ヶ淵悲劇正誤

老齢の身が病弱ヶ悲歎の餘り、終に神經衰弱に陷り時局に起つての哀切の遺書を殘して去月十九日久の濱海岸鰐ヶ淵に投身自殺を遂げた市内胡摩沢鈴木甚三郎氏養子庄吉君（三二）の死体は既報附近に漂着した旨昨報したが右は去る二十二日が恰も五七日に相當するので溫良であつた故人を偲んで今尚ら諦め切れぬ近親者が當日現場に僧侶を招き懇ろに法事を營んだのを死体漂着と見誤られたもので未だに發見されず一同悲しみを續けて居る

萬能一擊で
懲役十月

既報、妹の復緣問題で義弟平山影卿を萬能で重傷を負はせた上遠野村川原姪田四郎（四五）の公判は二十四日平區に開廷、四郎は殺意を認め高澤檢事懲役一年を求刑、二十五日木下裁判長から懲役十月を言渡された

郵便配達さん
颯爽！と初の任官
平局に喜びの四人

郵便配達さんの判任官登用令により平局からは左記四氏が二十日附で初の判任官待遇「通信手」に任せられた、みんな集配取扱りをしてゐる二十年以上の勤續者で係入から一躍判任官に昇進したその喜びは大きい

遠藤七郎平、酒井新太郎、大谷館一郎、木田貞治

鳶職奇禍

錦村中田鳶職遠澤七郎（四二）は二十四日午後五時頃同村昭和人絹工場屋根葺替中高さ二間余の足場から轉落即死

けふの獻立
［決戰］鹽鮭とうどん汁

平家政研究會指導員　成田君子

鹽鮭　四〇瓦　普通大半切
メリケン粉三五　盃二杯
葱　三〇　普通大二寸位
淺漬
蛋白質一二、九瓦
溫量一〇五カロリー

［調理法］鹽鮭は燒く、うどん汁はメリケン粉に少量の鹽を入れ、水で練つて麺棒の樣なものでのばし折りたゝんで千切としうどんを作る、煮立つた煮出汁に入れて煮鹽、醬油で味をつけ葱を入れる

◎當選チームで監記チームを編成、一點を爭ふべく練習の集勢隊を組めて旺んなものがある

右小林、1岩本、2小野寺、遊擊手、投大野、ま遊藤、中柳川、捕吉田、左田邊、補荒邊、熊形

平市慶弔錄

△出生　新川町吉田吉松氏四男義男君、鎌の内眼谷喜八氏三女絹子さん、紺屋町福谷新平氏長女佳世子さん

霧笛

一般の時期に編らずメートルを昂げてゐるお役所方面の野球熱は近來殷賑著なものがあつて伊藤勸役を盟主とする市役所軍の名ナインなど特に颯爽たる陣容を見せてゐるが、才器をバットに持ち替え、折にふれて練習を續けてゐる稅務署軍も平井直稅課長

新暦五月二十六日　舊曆四月八日　金曜　癸亥　大安　九紫　八白

▲一白　不滿をおさへ慎らせず今日一日の安全を願へ▲二黑　胸中の滿てる事にて内外共に將になるなし▲三碧　實現を願ひ大いに進展する氣運を失ふべし▲四綠　不相應の事を企てされば大いに發展すべし▲五黃　收穫はひくくとも目上の引立てのある日なり▲六白　人事に口を出さず家業を大切に勵むべし▲七赤　勞多くて功少くとも決してうむべからず▲八白　忠實に本分を守れば知らず識らず發展あり▲九紫　いざなひに乘らず家業專一とし勵めば吉なり

二十六日（小名濱測候所調）
滿潮　前七、三五　後九、五五
干潮　前一、五五　後二、二五

陣中を聽く
(401)

銃後に感激し乍ら新東亞建設に努力
市内新町出身　猪狩秦治君（信班）

寒暖の候と相成りましたが其の後は意外の御無沙汰をしました。平にお許しの程御願ひ申し上げます。會員の方々銃後運動にてお忙しい事とお察し申し上げます。自分も入隊後は益々元氣にて軍務に精勵して居りますから御安心下さい。現在は中支の山の中に頑張つて勤務に就て居ります。新東亞建設に努力致す覺悟であります。お知せ迄。

雨には閉口
鎌田町出身　高田功君

益々御消榮の段大賀至極に御座います。戰時下に於ける稅界も增新稅により益々御繁務の程察はれます。降つて私事も御蔭を以て元氣にて行動致して居りますから御安心下さい。當地は目下内地の入梅季同樣蒸日降雨、それに蒸氣まで加はり泥濘の行動で田植え時の田圃以上膝まで沒し流汗淋漓、泥は頭顔まで塗られ互に顔を見合て苦笑して居ります、惱むは雨路です。泥濘何時まで續くか判りません。

お蔭で息災
市内材木町　佐原敏雄君

拜啓、前略御免下さい。其後は軍務多忙の爲め久しく御無沙汰申し居りまして誠しからで御許しの程を。其後御一同樣にも御變りも無く御過ごし遊ばさる事と存じます。また私も銃後皆々樣の御蔭で無事元氣で勤めて居ります故御安心下さい。尚ほ昨日屆いた地方新聞によると銃後御一同樣には大變なる御活躍で嘸々御疲れの御事と思ひます。

御誂ひも既製品も　高島屋洋服店　平二電三八六

夜間診療　胃腸性病　内科　胃腸病科　花柳病科　性病科　皮膚科　專門（見習看護婦募集）　松村胃腸性病科醫院　（平市南町電一〇七番）

安齋外科醫院　（平市田町）　電話四七五番

吉田眼科醫院　醫學士　吉田久雄　平市紺屋町　電話六八番

內務省指定　福島縣立代用精神病院　郡山腦病院　精神病科　腦脊髓病科　神經病科　郡山驛より約三十丁　安積中學より約五丁　入院隨時　院長醫學士　金森五郎　郡山市外大槻村針生　電話九二五番

開院　齒科全般　口腔外科　齒列矯正　平郵便局ウラ通り　南町四十五　東京齒科醫學士　鈴木與一郎　鈴木齒科醫院

女店員募集　學歷・高等・十七才ヨリ二十五才マデ　申込五月三十一日マデ……　大黑屋洋品店

小店員募集　國民・住込・十三才ヨリ十八才マデ　報酬實金制度　申込五月三十一日マデ……　大黑屋洋品店

中風・血壓異常・動脈硬化・高血壓・神經衰弱に　プロナフン　◎高血壓は生命を脅威す　平市田町　阿部藥舖